

ちゅうごくライフ

病院の出前講座 広がる

病院の「出前講座」が広がっている。そば屋の出前のように、病院が健康講座の「メニューリスト」を用意し、住民団体などの「注文」に応じて、病院のスタッフが無償で出向く活動だ。現場を訪ねた。



説明工夫 医療力育つ

県立広島病院

県立広島病院（広島市南区）は2009年に「出前講座」を始めた。これまでに140回を要する。5年前には内容をまとめた本も出した。インターネットが使われるようになり、受診する人が限った情報を持つてくる

のオビニオンリーダーに理解してもらおうと、彼らから各地域に広がっていく。効果がある」と教本發行副院長は話す。多忙な病院スタッフたちが業務をやりくりしながら

られ、スタッフのやりがいにつながっているという。だが、それだけでは話すと分かってもらえない。坂本さんは「どう話すと分かってもらえるか。退屈せずに聞いてもらえるか。医療者が、患者と学べるいい機会なのです。住民を教え、医療者の反応が直感を感じる。

が大切にされるようになるだろう。地域医療の崩壊を食い止める一つの力になる可能性があるのではないか。

県都にある中核病院の「出前」先は、住民団体や老人会だけでなく、学校、企業など幅広い。自治体の保健師や民生委員、県議会議員の団体もある。「地域